

第1回から第3回阪南市総合計画審議会における意見への対応等

章	節	審議会	意見・内容	後期計画 ページ	対応等	
1	全体	第1回	<ul style="list-style-type: none"> 現在の指標では施策のめざす姿に関してめざす姿が追いかけていないものとする。違った観点で施策のめざす姿を追いかけることのできる指標を見つけていく必要がある。 施策のめざす姿と指標があていないため、見直しをお願いしたい。代替りの指標の提案もお願いしたい。 アウトプット指標、アウトカム指標とあるが、施策のめざす姿を追いかける指標となっているのかなどを確認いただきたい。 	全体	意見を踏まえ、全体的に検証し、必要に応じ見直しました。	
2	全体	第1回	<ul style="list-style-type: none"> 市として捉えている課題や出来ていない部分を今後実施していくことは重要であるが、地方創生の考え方として、地域の強みや資源がどこにあるのかなどを掘り下げて考え、そこをどのように伸ばしていくかといったことも大事。アンケート結果に住みやすいといったことや、定住傾向が強いといったポジティブ意見がでているので、それがどのような部分で感じているのか、自由記述から拾い上げ、伸ばすべき部分など、阪南市の個性を伸ばすといった方策も必要であるとする。 	全体	意見のとおり総合戦略との整合を図りました。	
3	全体	第1回	<ul style="list-style-type: none"> 全体を通して課題を書き直しているのは良いが、めざす姿で受けるのか、市役所の役割や、市民の役割で受けるのか、課題に対して何をするのかが記載しきれていない。特に、書き改めた課題、書き足した課題に対して、本当に受け止められているのか再度チェックしていただきたい。 	全体	意見を踏まえ、全体的に検証し、必要に応じ見直しました。	
4	1	1	第2回	1章のところ地域コミュニティの活性化を記載すべきとの意見があったので、事務局で受け止めていただいて、市民活動、地域活動をきちんと整理してほしい。	23 24	意見を踏まえ、「施策のめざす姿」、「市役所の役割」等見直しを行いました。
5	1	1	第2回	自治会について、なかなか加入してもらえない。協働がベースになるので市役所の役割でメリット、デメリット啓蒙していくということをぜひ記載いただきたい。	24	意見を踏まえ、「市役所の役割」を見直しました。
6	1	1	第2回	トレンドが見えない。全部の項目が対応していないということで難しいかもしれないが、NPO法人と市民団体登録数というのは前期の現状値を後期の現状値の下に括弧書きで書く等すれば一目で分かる。	24	意見を踏まえ、過去からの実績をグラフ化して追記しました。

第1回から第3回阪南市総合計画審議会における意見への対応等

章	節	審議会	意見・内容	後期計画 ページ	対応等
7	1 4	1 6 第3回	民間や市民の力を活用する指定管理者も協働といった概念であるので、記載をいただきたい。	24	意見を踏まえ、「市役所の役割」を見直しました。
8	1	2 第2回	<p>施策2の情報発信の充実のところ、「市民」から始まる記述が多く見受けられ、行政サービスとして市民に向いているのは正しいのかもしれないが、広報としては市外からの人を呼び込む、魅力を発信するということも大事だと思う。市民を強調しすぎて、移住を促進するとか、そういう魅力が書けていないと感じた。</p> <p>市外の発信と言う割には施策のめざす姿にも市民と書いてあるし、P26にも市民という言葉しか出てこないのもう少し対外的な発信も分かるような形で位置づけておかないと、言っている話と、記載している話が違うので、このあたりは指摘を受けて書きぶりを変えていただく可能性が非常に高いのかなという風に思った。</p>	25 26	意見を踏まえ、「施策のめざす姿」、「市役所の役割」、「市民などの役割」を見直しを行いました。
9	2	6 第2回	P39には健康づくりの話があるが、市役所の役割のところは健康づくりの文言が欠けているので、そのあたりを書いておかないと次の事業が見えてこないかと思うので、再検討いただければと思う。	40	意見を踏まえ、「市役所の役割」などを見直しました。
10	3	1 第2回	防災、減災のことしっかりと書いていたらいいと思う。防災だけでは難しく、減災という言葉かなり出てきている。防火と準防火の話があるが、準防火決めればならなくなり、ある一定広がっていくが、それ以上指標として広がっていくか、どんな風に指標が設定されていくのかなと思うので保留かなと思う。この他の指標を考えると、災害が起きた時の地域間連携という話が合ったように一時避難地や広域避難地話になってくる。避難所は小学校や都市公園の配置計画に関わってくる話である。そういった基準値を入れる可能性があるかどうかを検討していただき、不適なら追加して頂かなくてもいいが、避難と言う発想をどっかに入れておいてもいいのかなと思った。	47	意見を踏まえ、施策名を「地域防災の推進」から「地域防災・減災の推進」に見直すとともに、「市民などの役割」を追記しました。

第1回から第3回阪南市総合計画審議会における意見への対応等

章	節	審議会	意見・内容	後期計画 ページ	対応等	
11	3	1	第2回	P47,48の施策1地域防災の推進について、市役所の役割としては防災マップを配ったり、啓発をすることだと思うが、受け手の市民にそれを見て避難所を把握する、家庭で被災時、災害時にどういう行動をとるか話し合うなど、そういう文言がP48にあってもいいのかなと思う。	48	意見を踏まえ、「市役所の役割」を見直しました。
12	3	8	第1回	・61頁では施策のめざす姿が3つあるが、指標が1つであるため、めざす姿を追いかけられていないのではないかと。	61	意見を踏まえ、成果指標「特定空家等の勧告件数」を追記するとともに、他にそのような箇所がないか点検を行いました。
13	4	2	第2回	学校教育の充実のために幅広い視点を持つことが重要と考えられるため、スポーツ・体力について成果指標を追加するのはいかがでしょうか。	67	意見を踏まえ、成果指標として、「全国体力・運動能力調査の体力合計平均値における全国との差」を追記しました。
14	4	3	第3回	施策3の生涯学習の推進について、図書館の利用登録率を目標として掲げているが、貸出冊数を目標にできないか、また、個別アンケートにある土日の開館や、周辺市町との貸出協力について検討できないか。	70	意見を踏まえ、成果指標「図書館の住民一人当たりの年間貸出冊数」を追記しました。貸出総数より、住民一人当たりの貸出冊数の方が他団体との比較が容易であり、全国的に貸出数の低下が課題となっているが、目標とする成果指標でも大阪府平均を1ポイント以上上回る。
15	4	4	第3回	71頁の山中溪の町並みの保全について、街道や歴史的な町並みの保全活動などを市役所や市民の役割に記載してはどうか。	72	意見を踏まえ、「市役所の役割」や「市民などの役割」を見直しました。
16	4	5	第1回	・73頁の国際化の推進について、多言語化が国際化につながるのか疑問。人口減少にあたり、市の賑わいや産業が衰退してくるなかで、交流人口の拡大を図り、賑わいを取り戻すことが必要であると理解している。 ・具体的にインバウンドや、他市からの人口をどのように取り入れるのかが見えない。 ・他市でも実施している姉妹都市構想などもっているのかが、大きなファクターとなってくるものとする。	74	意見を踏まえ、「市役所の役割」を見直しました。

第1回から第3回阪南市総合計画審議会における意見への対応等

章	節	審議会	意見・内容	後期計画 ページ	対応等	
17	4	5	第3回	国際化の推進において、わんぱく王国と一体化したイベントを実施するなど、文化・芸術といったキーワードを盛り込んで様々な活動の中に取り込んではどうか。	74	意見を踏まえ、「市役所の役割」を見直しました。
18	4	6	第3回	スポーツ振興について、運動をする人口を増やすためニュースポーツなどを広めている活動をしているため、市役所の役割としても取り組みを広げるよう検討いただきたい。 いろいろなニーズやレベルに合わせてスポーツを楽しめるような入口を増やしていただきたい。	76 121	意見を踏まえ、「市役所の役割」を見直すとともに、施策連携(121ページ)に取り入れました。
19	4	6	第3回	生涯スポーツの振興の関係で、体育施設等には指定管理者制度を導入しているが、民間活力の活用による市民サービスの向上と、市の財政効果のために導入するのが指定管理者制度の大きな目的であると思う。市民サービスの向上といった部分は役割に記載してもよいのではないか。	76	意見を踏まえ、「市役所の役割」を見直しました。
20	5	1	第3回	83頁の観光の振興において、外から呼び込むことがメインとなっているので、市民が市内を観光するといった観点もほしい。	83	意見を踏まえ、「施策のめざす姿」を見直しました。
21	5	1	第3回	観光ボランティアをしているが、メンバーの若返りが必要である。観光協会との連携も不足しており、行政が中心となってボランティアを側面から支援していただきたい。 地域を盛り上げていくといったものは地域まちづくりといった総合施策となるので、分野ごとではなく総合的な支援・施策展開が必要となる。	84 122	意見を踏まえ、「市役所の役割」を見直すとともに、総合施策として施策連携(122ページ)に加えました。
22	5	1	第1回	・本市にはホテルがないので、将来的なビジョンの中で、そのような施設の誘致や、自然環境を活かしたグランピングを実施していくなど、ビジョンとして練っていくことが必要だと考える。	84 122	意見を踏まえ、「市役所の役割」を見直すとともに、施策連携(P122ページ)にも取り入れました。
23	5	1	第3回	各団体が観光資源を活用しているが、市外への情報発信が弱い。広報施策に注力し、なんば近辺にサテライトショップを展開する等、市外の方に伝わるようにしていただきたい。	122	意見を踏まえ、広報戦略については、観光やシティプロモーションと多岐の分野にわたることから、施策連携(P122)のなかに取り入れました。

第1回から第3回阪南市総合計画審議会における意見への対応等

章	節	審議会	意見・内容	後期計画 ページ	対応等	
24	5	1	第3回	観光振興としては阪南市内にお金が落ちる仕組みを強調していただきたい。道の駅など長期的に民間の力を借りながら整備ができればと思う。観光協会では誘客の強みとしては海が強いといった認識がある。観光だけではなく、食べるところの整備が必要。市民向けについては、人口減少の傾向にあることから市外からきていただき、交流人口の拡大といった視点で考えている。市外からの誘客については計画に記載されているため、プラスアルファするためには市民の活用といった事も必要である。	84	意見を踏まえ、「市役所の役割」を見直しました。
25	5	1	第3回	観光資源としては里海・里山の魅力が大きいですが、環境にやさしいエコなまちといった事も踏まえて情報発信してはどうか。	84	意見を踏まえ、「市役所の役割」を見直しました。
26	5	1	第3回	海水浴場やわんぱく王国をうまく活用した施策、市の物産、里山、歴史文化、十四匠が繋がっていくような、点としての資源を線でつなぎ、市全体を面で描くといった有効に活用し、まち全体の価値をあげるといったことも必要と考える。	84 122	意見を踏まえ、「市役所の役割」を見直すとともに、施策連携(P122)に取り入れました。
27	5	1	第3回	84頁の市役所役割に日帰り観光や体験型、エコツーリズムなどのキーワードを盛り込んで、市が支援できるメニューを検討していただきたい。	84	意見を踏まえ、「市役所の役割」に記載しました。
28	5	4	第2回	漁業の振興には、集客交流の場も必要と考えるため、漁業のついでPRイベントの成果指標を追加するのはいかがでしょうか。	89	意見を踏まえ、「成果指標」を追加しました。
29	5	4	第3回	海をどのように活用していくのか。漁業の振興では、府立大学と民間、行政と連携協定を結んでいる。海苔の養殖など、産学官連携といった内容を記載しても良いのではと思うが、担当課に確認していただきたい。	89	意見を踏まえ、産学官連携の視点を「施策のめざす姿」に記載しました。
30	5	4	第3回	スーパーでの魚市の展開を行政として協力すれば地元漁業の振興にもつながるのではないかと。もっと意欲的にPRしていく手法を検討していただきたい。産物をもって市外へPRするなど。マーケティングや広報戦略で地名がでるネーミング等が必要である。	89 122	意見を踏まえ、「成果指標」を追記しました。また、施策連携(P122)の視点として、都市の魅力づくり(水産物のブランド化など)や広報戦略を記載しました。

第1回から第3回阪南市総合計画審議会における意見への対応等

章	節	審議会	意見・内容	後期計画 ページ	対応等	
31	5	5	第3回	91頁の施策5では従来型の雇用創出である。今後は業を起こす起業を支援するといった起業支援内容も検討していただきたい。86頁の市役所の役割として創業支援を3行目に記載しているが双方に記載し、連動したほうがわかりやすい。	92	意見を踏まえ、「市役所の役割」に記載しました。
32	6	1 2	第3回	97頁の安全な水辺空間の形成について、課題にあるような河川、ため池の改修だけで、集中豪雨対策等をはかることができるのか。また、河川環境の整備とあるが、環境教育や環境を良くするための整備など、成果指標として出すことができないか。指標設定できないか検討していただきたい。	95 97	意見を踏まえ、施策1及び施策2に成果指標「水辺の学校などの自然環境学習会の参加者数」を追記しました。
33	6	1	第3回	95頁の自然と共生するまちづくりについて、自然環境保全について、せんなん里海公園で陸ガニの保全なども行われていることから、そういった活動や産業学習などについての記載が必要だと感じる。	95 96	意見を踏まえ、「成果指標」を追加するとともに、「市役所の役割」を見直しました。
34	6	1 2	第3回	施策2で環境のコメントをしたが、環境や教育は施策1ではないか。水辺空間の清掃活動は自然と共生といった観点ではそぐわないが、まちの水路の疎通能力や雨水排水能力のための清掃であれば施策2でもよい。水辺空間の活用では施策1の市民の役割ではないかと考える。防災や安全面において水辺に関するものがあれば検討していただきたい。	95～98	意見を踏まえ、「成果指標」を追加するとともに、「市役所の役割」を見直しました。
35	6	2	第3回	安全な水辺空間の形成については、災害対策などの記載も検討していただきたい。3つの漁協があり、産業的利用と環境的利用、安全な水辺空間や災害対策などの記載も検討していただきたい。	98	意見を踏まえ、「市役所の役割」を見直しました。
36	6	5	第3回	施策5の安全で快適な交通環境づくりについて、成果指標が放置自転車数だけなので、課題に掲載している内容を受けているのか疑問であるので、他目標の検討をしていただきたい。	103	意見を踏まえ、成果指標に「年間市内交通事故発生件数」を追記しました。

第1回から第3回阪南市総合計画審議会における意見への対応等

章	節	審議会	意見・内容	後期計画 ページ	対応等
37	6	5	第3回	103	意見を踏まえ、成果指標「年間市内交通事故発生件数」を追記しました。道路等の維持管理については、6章施策7「都市基盤の維持管理」に記載しています。
38	6	5	第1回	103 122	意見を踏まえ、「成果指標」を見直しました。また、観光との連携については、施策連携(P122)に取り入れました。
39	7	1	第3回	110 122	意見を踏まえ、「分野のめざす姿」および「施策連携」の視点を見直しました。
40	7	1	第3回	112	意見を踏まえ、「市役所の役割」を見直しました

第1回から第3回阪南市総合計画審議会における意見への対応等

章	節	審議会	意見・内容	後期計画 ページ	対応等
41	7	2	第3回		
			施策2に具体的にどういった職員像をめざすかを記載できな。協働の世の中でコーディネーターやファシリテーターといった動き方が欲しい。そのための質的転換が求められているといったことや、それに対応した研修を実施しているといった記載内容があるのではないかと。	114	意見を踏まえ、「市役所の役割」を見直しました。また、研修の実施については、今後、行政経営計画(実施計画)の中で検討します。
42	7	3	第1回		
			・今後、少子高齢化や人口減少といった施策を展開できるのか、具体的なコスト削減や、予算配分などのメリハリなどを記載していただければと感じた。 ・115頁の持続可能な財政運営が今の指摘にあたる。そこにもう少し具体的な内容や、イメージできるものを記載すれば、よりわかりやすくなる。	115 116	意見を踏まえ、「現状と課題」や「施策のめざす姿」などを見直しました。
43			第1回		
	施策連携		・前期計画よりも項目や目標設定をしており、課題のあぶり出しとしては良いのだが、重複を避けた縦割りに感じる。効率的な行政運営のためには、一つの施策をすれば、幾つもの課題を解決できるのは理想であると考えているが、前回の総合計画の中では施策連携の視点といった項目があり、めざすべき姿というのを、一つ一つの施策からだけでなく、連携した将来像を考えているため、良いと感じた。 ・子育て、ふるさと、賑わい、出会い、生きがいなどは基本的なことだと思うが、もう少しブレイクダウンし、それぞれのめざすべき所について、関連する施策を意識できるものになるとより良いと感じる。観光や街づくりの視点からも足りないものが見えてくるものもあるので、施策連携の視点のブラッシュアップも必要と感じる。	118～122	意見を踏まえ、「施策連携」(118～122ページ)を設定し、総合施策に取り組むこととします。
44			第1回		
	施策連携		・31頁、健康づくりの推進について、健幸マイスターや食生活改善推進委員の記載のほか、健幸ポイントプロジェクトに携わっているスポーツ推進委員に関する記述も追記していただきたい。 ・スポーツも健康づくりの一環であることから、スポーツと保健を連動させた記載をしていただきたい。	121	意見を踏まえ、「施策連携」(121ページ)として取り入れました。

第1回から第3回阪南市総合計画審議会における意見への対応等

章	節	審議会	意見・内容	後期計画 ページ	対応等
45	施策 連携	第1回	・71頁の歴史・文化の保存と継承についても、もっと観光に活用できると考えている。観光といった観点から、既に有する資源をどのように活用していくのか、ホテルや交通機関といった観光の基盤整備をターゲットとし、全ての項目をチェックすると、もっと充実させることが出来ることも可能であると考え	122	意見を踏まえ、「施策連携」(122ページ)に取り入れました。
46	施策 連携	第3回	熊野古道は認知度が低い。H25年には、はんなんものづくりまち歩きツアーや、はんなんグルメ大集合といった商工会主催イベントが実施され、古道を歩き、地域の物産が紹介できた。 7章の行政経営の推進でも受けることが出来るようになる。部局を超えたパッケージとしての展開が必要である。	122	ご意見を踏まえ、「施策連携」(122ページ)に取り入れました。
47	施策 連携	第1回	・99頁の魅力的な街並みづくりについて、観光協会の認識では、観光客にその街を楽しんでいただくだけでなく、さらに食事や宿泊をしていただいて、一定のお金を落としてもらわないと意味がないと理解している。	122	ご意見を踏まえ、「施策連携」(122ページ)に取り入れました。